

P229:〔四 新派の將來〕:《文化(D1)と芝居(せりふFと動きE)延いては國民の「生き方E」との關聯》...

P229「今日、まともに、芝居(せりふFと動きE)と取組んでゐる人々(△杵)にとってほとんど絶望的(D1の至小化)とも思はれる日本(C)の社會の文化的貧困(D1の至小化)といふ『大問題』が潜んでゐる」のに、「呑氣な事(F)を言つて済ましてゐる(Eの至小化)今日の日本人(△杵)、およびその(日本歴史Cの)文化の實状(D1の至小化)の方が私にとっては『やり切れない』」...とは、以下①②の事なり。

①「三十年前の歌舞伎界(△杵)および日本の知識階級一般(△杵)は特定演目禁止(D1の至小化)といふGHQ(C')への『(寺子屋評が言ふ)忠義(D1)といふものをいかに厳しくおしつけられてきた(D1の至小化:抑壓)か、またそれに一所懸命抵抗しきれずにきた(D1の至小化)か、さういふ歴史』[即ち、GHQ(C'場)⇒忠義の押しつけ(D1の至小化:特定演目禁止と言ふ名の「日本歴史否定」)⇒「歌舞伎界(△杵)および日本の知識階級一般(△杵)』」。

②「歌舞伎界(△杵)への直撃弾(D1の至小化)はいちわう避けられはしたものの、學校教育(△杵)、社會教育(△杵)は見事に被弾した(D1の至小化)」[即ち、「GHQ(C'場)⇒『日本人の封建的道德觀抹殺』と言ふ『非人間的』『非民主主義的』『特定演目禁止的』被弾(D1の至小化)⇒學校教育(△杵)・社會教育(△杵)』⇒「その(GHQの)災害(前記:D1の至小化)が今日の歌舞伎界(△杵)に、その役者(△杵)や觀客(△杵)におよんでゐる」。

\*「日本(C)の社會の文化的貧困(D1の至小化)といふ『大問題』。「ほとんど絶望的(D1の至小化)」。

\*「GHQ(C'場)⇒『日本人の封建的道德觀抹殺』と言ふ『非人間的』『非民主主義的』『特定演目禁止的』被弾(D1の至小化)⇒學校教育(△杵)・社會教育(△杵)」。

\*「直撃弾(D1の至小化)」。「見事に被弾した(D1の至小化)」。

\*「その(GHQの)災害(D1の至小化)が今日の歌舞伎界に、その役者や觀客(△杵)におよんでゐる」。

日本(C)の社會・GHQ(C'場)

\*「呑氣な事(F)を言つて済ましてゐる(Eの至小化)」。

\*「芝居(せりふFと動きE)と取組んでゐる人々(△杵)にとってほとんど絶望的(D1の至小化)」。

F(言葉)・・・せりふ・言葉。  
「呑氣な事(F)」

(△杵): 芝居關係者・日本人・歌舞伎界・知識階級一般・役者・觀客・學校教育・社會教育